

研究課題名	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の重症化に寄与する入院前臨床背景およびCOVID-19に罹患した糖尿病患者の重症化予測因子に関する検討
研究の意義・目的	糖尿病はCOVID-19において重症化リスクが高い基礎疾患の一つとして挙げられていますが、国内における詳細な報告は非常に限られている状況です。COVID-19患者の重症化に関係する患者さんの状況・状態を明らかにし、さらに糖尿病を合併している患者さんでどのような状況・状態が重症化を予測できるのかを明らかにするために、本研究を行います。
研究を行う期間	研究実施許可日～ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年5月～2022年3月に大阪市立十三市民病院に、COVID-19の治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記の情報を本研究に使用させてください。 診療情報等：【患者背景（年齢、性別、BMI、基礎疾患など）、症状、血液検査、画像所見、治療内容、転帰など】
試料・情報の他機関への提供	共同研究機関である大阪市立十三市民病院糖尿病内分泌内科から情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	多施設共同研究 【研究代表者】地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立十三市民病院 日浦義和
試料・情報を管理する責任者	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立十三市民病院 糖尿病内分泌内科 研究代表者 日浦義和
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 (担当者氏名) 藏城 雅文 電話番号：(06) 6645-3806 メールアドレス：interm2@med.osaka-cu.ac.jp